

令和6年第8回大竹市教育委員会

1 開催日時 令和6年8月16日（金）13時30分開始

2 会 場 大竹市役所5階第一委員会室

3 出席及び欠席委員

教育長	小 西 啓 二	出席
1 番	池 田 良 枝	出席
2 番	中 田 美 穂	出席
3 番	小 城 和 之	出席
4 番	市 川 洋	出席

4 出席職員

選定委員長	小 田 大 介
総務学事課長	大 井 一 徳
	重 安 千 陽
	丸 茂 宣 潔
	横 峰 路 子
	岡 村 篤 子
	衆 樹 亮 介
	大 庭 史 善

・・

【開会時刻 13時30分】

小西教育長 定足数に達していますので、これより令和6年第8回大竹市教育委員会会議を開会します。

はじめに、議事録署名委員を指名します。議事録署名委員は、大竹市教育委員会会議規則第15条第2項の規定により、池田委員を指名します。

これより本日の日程に入ります。日程第1「会期の決定について」を8月16日一日限りとします。異議はありませんか。

委 員 一 同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって会期は本日一日間と決定しました。

議案第14号 令和7年度大竹市使用中学校用教科用図書の採択について

小西教育長 日程第2「議案第14号 令和7年度大竹市使用中学校用教科用図書の採択について」を議題といたします。なお、説明員として令和7年度大竹市教科用図書選定委員会会長、小田大介玖波中学校校長に出席をしていただいております。それでは、事務局から説明を求めます。

事 務 局 令和7年度から中学校で使用する教科用図書が変更となります。教科書は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条により、使用する前年度の8月31日までに採択することとされているため、文部科学省発行の中学校用図書中学校用教科書目録(令和7年度使用)に掲載されている

教科書の中から、令和7年度以降に使用する教科書を採択する必要があります。本年、第5回定例教育委員会において承認された令和7年度大竹市使用教科用図書の採択基本方針等に基づき、採択事務の過程を経て、大竹市教科用図書選定委員会が推薦する発行者とその理由、調査研究による全発行者の特徴を記載した大竹市立中学校教科用図書採択のための調査研究について（答申）が提出されました。この答申書には、選定委員会が推薦する発行者とその理由、調査研究による全発行者の特徴が記載されています。本日はこの答申書について、1種目ずつ選定委員会の会長であります、玖波中学校の小田校長から説明していただいた後、この会議で十分審議し、理由を明確にした上で採択を行うものです。なお、答申では種目ごとに発行者を推薦していますが、議案には採択の対象として、全ての教科書及び発行者を掲載しています。ただし、発行者のうち、一般社団法人学ぶ会及び株式会社日科技連出版社については、それぞれ社会(歴史的分野)、道德の教科書が検定に合格していますが、見本本の提供が得られなかったため、掲載していませんので御承知ください。あくまで採択は、採択権者である教育委員会が、十分な審議をした上で行うこととなりますので、よろしくお願いいたします。また追加で配付しております、展覧会閲覧者アンケートの写しにつきましては、見本本を6月に総合市民会館で展示した際にお寄せいただいたご意見ですので、ご一読いただき、本日の審議の参考にしてくださいませようよろしくお願いいたします。なお、当該資料につきましては、審議終了後回収いたしますのでご承知ください。

小西教育長 それでは、本議案の審議に当たり、お配りをしております大竹市立中学校教科用図書採択のための調査研究について（答申）をご覧ください。選定委員会会長から答申について説明をしていただきます。種目ごとに審議をするため、まずは国語についてお願いをいたします。

小 田 会 長 国語科については選定委員会で「東書」と「三省堂」という意見が出ました。東書の選定理由については、1年生の教科書に「てびき」という項目があり、学習の見通しが立てやすく、生徒自身が主体的に学習できるようになっています。また、全体として分かりやすい工夫がされており、資料やデジタルコンテンツも豊富です。

それと同時に三省堂は「学びの道しるべ」や「読み方を学ぼう」で、生徒自身が主体的に学習できるような工夫がされています。また、学び方を学ばせる工夫がされています。選定委員会としては国語科においては第1候補として、東書を選定し、第2候補として三省堂を選定いたしました。

小西教育長 これより質疑に入ります。質疑はありますか。

市 川 委 員 今回の上がっているものを見ますと、国語は東書が1番、三省堂が2番という形で上がっていますが、東書については、ここに書いてありますように「てびき」があって、学習の見通しも立てやすく、主体的に学習ができるようになっているという理由があると思います。それで、そういう視点で見ると、結構光村も主体的な学びという点では随分と良いところがあって、学習の手引きが主体的な学びにつながっていくと思うのですが、学習の手引きが今までは大体教科書の後ろについていました。だからざーっと通して学習した後に、学習の

手引きがついているということだったのですが、前回から光村は、学習の手引きに関わる主体的な学びを扉に持ってきています。これがすごく特色があって、最初の鑑を見て、この単元ではどのような学びをしていくかというのを生徒が捉えられる、生徒は主体的な学びへとつなげていくということで、その辺を見ると、光村の教科書は学びを支える言葉の力を意識しているなと思いました。そして話すこと・読むこと・書くことをスムーズに連携させているというところは、光村が良いと思いました。それと特に、全国学力学習状況調査と関連させてみると、光村はそこら辺も随分と意識していて、QRの中にも入れていますし、生徒の学力向上ということを考えると、光村はすごく見通しを持って捉えているのではないかなと思っています。

東書については先ほどの選定委員会より意見が出たところだと思いますし、図表をすごくうまく扱っているので、東書の方は言語活動に生かすことができるということでは東書ではないかなと思いました。

また、最近ラジオを聞きますと、やはり文学教材は、小学校・中学校で習った教科書からの文学教材が大人になってもすごく印象に残っているというのを何回かラジオで聞いています。そういう意味では、やはり光村の文学教材というのは、「やまなし」であるとか「ごんぎつね」であるとか「かさじぞう」であるとかという作品は、随分と大人になっても残っているということだと思いました。今回の文学教材を調べてみますと、光村がすごく文学教材を残しているといえますか、その点では、光村が文学教材をたくさん用意しているのではないかなと思いました。

小西教育長 光村という意見が出ました。選定委員会で光村の意見がもし出ているのであれば、紹介をしていただきたいと思います。

小田会長 光村については、ある委員が言及している場面がありました。それは2年生の教科書ですが、中学生が書いた随筆に非常に心引かれるものがあり、その随筆を学ぶ単元については、それを習得した後に自分も書いてみようと思うような気持ちにさせられるような単元開発がされていて、光村も良いという意見がありました。

池田委員 私は図書の観点から見てみました。そういう意味では、東書が大変たくさん取り上げられていると思いました。教出も結構図書の取り上げが多くあったのですが、教材との関わりという部分で東書が多く取り上げられていて、しかも、子どもたちがまた続きで紹介されている本を読んでみようかなというような配列になっているなと思いました。東書が教出よりも良いのかなと思って見させてもらいました。

中田委員 私も専門的な見方がなかなかできないのですが、東書のやはり「てびき」が分かりやすいなというふうにすごく感じました。子どもに呼びかけるといって、柔らかい表現といいますか、あまり堅苦しさを感ぜず、どの「てびき」もずっと入ってくるイメージがありました。特に思ったのが2年生で初めて出てくる古典の部分です。恐らく初めて触れる部分だと思うのですが、他の教科書はすぐに古典の文章に入っていくのですが、前置きといいますか、導入部分に解説じゃないのですが、こういう世界ですよと子どもたちが授業に入りやすいように解説しているので良いなというふうに思いました。

小城委員 東書も良いなと思ったのですが、私は、三省堂の方が良いなと。先ほどお

話がありましたけど、専門的なところはちょっと分かりませんが、学習意欲が湧きやすい教科書のビジュアルといいますか色合いといいますか、そういったものと、各単元を追っていけば、ホップ・ステップ・ジャンプみたいな感じで文章があったり熟語があったり言葉・漢字があったり、学びやすいのは三省堂かなと思いました。先ほどからある、「てびき」というのは、確かにそれがあったら主体的に学ぶことができるのでしょうけれども、それを含めても、三省堂のほうが何か面白く学べそうかなというふうに思いました。

小西教育長 ありがとうございます。皆さんの意見を聞いていますと、東書、三省堂、光村ということですが、選定委員会では東書と三省堂の二つについて、これのどちらかが良いのではないかという答申が出ていますので、光村については外したいというふうに思います。二つの中で、意見があればお願いをいたします。小田会長で今の二つの教科書について、何かその他の良さ等があれば紹介をしていただきたいと思います。

小田会長 三省堂も東書も両方とも「てびき」や「学びの道しるべ」というのが単元の終わりに設けられているのは、国語が苦手な子についてはどのように考えたり、学んだりしたら良いのかというのが分かるので、非常に有効だと思います。東書はさらに教科書に主なデジタルコンテンツという一覧表があって、各単元に関わる話すこと・読むこと・聞くことなどの豊富なデジタルコンテンツが一覧表でまとめられていて、その単元に関わって深く学べる、広く学べる工夫がなされているということは東書の一つの大きな特色だと思います。

小西教育長 ありがとうございます。教育委員の皆さん、どうでしょうか。

池田委員 先ほど小田先生からのデジタルコンテンツのことについて説明をいただいて、やはり学校でしっかりとそういうものを活用しないといけない場面が出てくると思うので、そういうものが活用できるというのは、東書の魅力かなというふうに思いました。

小西教育長 分かりました、ありがとうございます。デジタルコンテンツも活用し、より深く学べるのではないかと、そういう準備がしっかりと教科書の中にあるということですね。

市川委員 東書のデジタルコンテンツの特色については、豊富なQRコードがあり、またその中身については、いわゆる生徒のプレゼンの仕方、どのようにしていったら良いのかとか、古典をどのように読んでいくかという部分については工夫がなされているなと思いました。

小西教育長 ありがとうございます。東書という意見の方が多いように思います。理由としては、そちらの意見として2点上がっていますけれども、「てびきや学びの道しるべが単元の終わりに設けられているため、国語が苦手な子についてはどのように考えたり、学んだりしたら良いのかというところが分かりやすい。」もう一つ、「デジタルコンテンツを活用して子どもたちが深く学べるのではないか。」というところ、そういうあたりが意見として出ております。時間をかけてもう少し協議をしたいところですが、東書の意見が多いので、国語については「東書」ということで確認をしたいと思います。理由については先ほど申し上げましたところでございます。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは続いて次、書写について説明をお願いしたいと思います。

小田会長 続いて、書写です。書写については、「東書」の教科書が適当だと思います。

選定理由として、単元の構成において「目標→みつけよう→確かめよう→書写のかぎ→生かそう→振り返ろう」と学ぶサイクルが明確になっており、学習の見通しが持ちやすいという工夫や、動画だけでなく音声による説明がありますので、どの生徒にも分かりやすいものとなっているのが選定理由です。

小西教育長 それでは、質疑に入りたいと思います。

市川委員 今説明を聞いてみて、東書については、学習段階の「目標→みつけよう→確かめよう→書写のかぎ→生かそう→振り返ろう」という段階については、すごく学習の見通しが立てやすい工夫がされているのではないかなと思いました。

それと光村ですが、学びのかぎという学習のポイントが丁寧にまとめられていて、いわゆる半紙と同じ大きさの見開きになっている、半紙と同じ大きさで毛筆を書くことができるという点では、すごく分かりやすく、生徒も利用しやすいなと思いました。また、左手用の書き方が工夫されていて、説明がQRコードに入っており、左利き用の動画を見ることができるということ。また、手紙やはがきとか、年賀の特集があるため、実際の社会生活に生かすことができるという点では、光村が良いなと思いました。先ほど言ったように学習段階というところでは、東書が良いなと思っています。

池田委員 光村も行書のところで、楷書との違いがすごくよく分かりやすく取り上げられているなと思ったのですが、手紙の部分では、どこも取り上げてはいるけれども、東書が一番丁寧に取り上げられているのかなと思いました。最近、手紙を書くこともほとんどなくなってきたので、是非、学校ではそういうところをきちんと取り上げて、どういう場面でどういうふうな書き方をすれば良いのかとか、実際に書いてみるとかということをここでしないと、とても家庭や一般社会に出てからするということが少なくなってきたような気がするので、しっかりと丁寧に取り上げられている東書が良いのかなと思います。

小田会長 例えば、QRコードから動画を視聴するという、特に書写の授業については、筆の置き方とか、筆の進み方とかということを動画で学ぶことはすごく効果的だと思います。この東書だけは動画だけを映すのではなく、動画と同時に音声で説明、口頭での説明があります。なので、非常に分かりやすいなという意見が出ていました。

小西教育長 ありがとうございます。動画プラス音声でも説明があるということで、非常に分かりやすいということですね。

小城委員 先ほどから話がありましたが、書写活用ブックがあり、字を書くことはふだんからやることですが、いろいろな文章、手紙、はがき、封筒等実用的なことの掲載が丁寧にされているなということ、その他の書式というところには願書とかいろいろなものもありましたし、のし袋とか、実情に沿っているものも多く見られたのは、東書だったなと思います。

中田委員 私も、東書を光村と比べながら見て、最終的に東書が良いなと思いました。基本の点、画の書き方のところも、とん、すー、ぴたとかこういう音声で一緒に解説されていて、小城議員の発言にもあったのですが、最後の活用ブックがあるところ、また姿勢に関する説明もより詳しいのではないのかなと思いました。唯一、光村で左利きの説明があったので、東書の方にもそれがあつたら、なお良かったなというふうには思うのですけれども、全体的に見て、東書が良いのではないかなと思いました。

小西教育長 それでは、これをもって質疑を終結したいと思います。意見を聞いているところでは、「東書が非常に扱いやすい。」ということ、「学習の見通しも持ちや

すい。」というような意見が出ていますので、書写につきましては、「東書」ということで決定をさせていただきます。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは、社会の地理的分野、小田会長、説明をよろしくお願いします。

小田会長 それでは、社会科の地理的分野です。発行者は「東書」です。その選定理由としては、地理的分野第4章、持続可能な地域の在り方という章があります。この持続可能な地域の在り方の単元において、プレゼンテーションソフトの活用方法や、動画を使った配信の仕方について触れられ、ICT活用を念頭に、生徒の知識技能を活用した学習のための工夫が見られます。ICTの活用は、これからの学習の在り方に適しているということで魅力的な単元となっています。また、地域を調査し課題をとらえようというところでは、広島が事例として取り上げられているので、広島で学ぶ生徒にとっては非常に身近で、学ぶ対象としては非常に適しているものだと考えます。

そして、単元でつきたい力を身につけさせるための単元構成がなされています。例えば、章の構成と学び方では、課題をつかむ、課題を追求する、課題を解決する、そして課題を追求するところにおいても導入の資料、学習課題、本、チェックアンドトライといって、学び方を学びながら、ふり返りもできるような工夫となっています。

小西教育長 これより質疑に入りたいと思います。

小城委員 全体的に社会は、地理・歴史・公民といろいろあって、どれも甲乙つけ難い内容で、教科書も本当に丁寧に写真と図と文章の構成が見やすくなっているなと思っていました。その中でやはり先ほどありました、東書に広島が載っているということは、やはり地元の特徴とか、広島というところで学ぶ興味を改めて持つような、意欲が湧くきっかけにちょうど良いのではないかなと思っていました。個人的にはこういったところも含めて、東書が良いなというふうに思いました。

市川委員 今回のことに関連していると思うのですが、東書は、いわゆる探求課題という、資料から読み取った情報をどのように読み取っていくか、それをうまく取り上げているなと思っていました。そして、いろいろな地方を振り返ろうという設定を設けて、探究のステップでふり返るという学習活動を入れています。そして、今も出ましたが、大竹市の地域の実態、課題を調べる学習に随分と適していると思っていました。そして、その自分自身で調べたものを、今度はグループの中で話し合いによって意見交換をするという形で情報交換をしていくというところは、工夫されているなと思っていました。

池田委員 私も、東書が良いと思っていました。先ほどの学び方の部分については、他の教科書会社も同じように、良いところもあるのですが、やはり、広島を取り上げてあるというのは、教科書を取り扱う上で、大竹市としては大きなことかなというふうに思います。

中田委員 私も東書で、広島が取り上げられているところは注目して見させていただいたのですが、単元の後にまとめの活動というのがあるのですがけれども、それも子どもたちがまとめやすく、あまりごちゃごちゃし過ぎず、最後のまとめに入れるのかなというふうに感じました。

小西教育長 それでは、社会の地理的分野について確認をしたいと思います。発行者につきましては「東書」、理由としては、「ICTの活用を念頭に置いた教科書づくり。」や、「広島を教材として扱っており、子どもたちにとって学習意欲、興味・関心の湧く内容になっている。」です。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは続いて、社会の歴史的分野について、小田会長、お願いします。

小田会長 続いて、歴史的分野です。歴史的分野についても、東書となりました。選定理由としては、年表でどの時代を今学習しているのかということが分かるような工夫がされているのは、東書だけです。そのため、歴史が苦手な生徒についても、ここを見れば今どの時代のところを学んでいるのかというのが分かるような工夫がされていました。また、東書の特色としては、例えば、中国の歴史の秦の時代ですが、右下にコラムがあり、その歴史と関係のある他の教科とのつながりを明記しています。秦時代の中国については、書写でいえば文字の成り立ちと移り変わり、国語の論語との兼ね合いがありますよというマークがついていて、教科横断的な学習についても非常にメリットが高いなというふうな意見が出ています。

小西教育長 それでは、質疑に入ります。

池田委員 先ほど言われたように、私もこの教科書を見ながら、一番右側にこのページはどこの時代なんだということが分かるというのはすごく便利だったので、子どもたちもこれはすごく良いだろうなというふうに思いました。

それから、私はやはり広島の前爆や長崎の前爆、それから沖縄、江戸時代の民衆のことをどのように取り上げられているかというところの部分で、教科書会社を見させていただきました。その中でどの教科書会社も大体取り上げられているのですが、東書が一番丁寧に取り上げられているかなというふうに思いました。

市川委員 先ほど年表が出てきましたが、工夫されているなと思いました。年表と今の時代を見比べながら生徒が確かめよう、そしてふり返ろうという設定になっているところが、主体的な学びへと繋がるのではないかなと思いました。

もう一点、地域の歴史を調べようというところで、今回よく出ています被爆地、広島の建物、被爆建物の保存をどのようにしていくかと、継承について、いわゆる調べ学習がすごくしやすく、生徒自らが体験学習として調べていくというところでは、随分と取り組みやすい内容になっているのではないかなと思いました。

中田委員 私も被爆建物の保存と継承というのが東書にあったので、そこは良いなというふうに思いました。あと、東書のほうが各章に入るところのイントロダクション的なページに、活躍した主要な人物が実写ではなく絵のような感じで、こういう人が活躍しましたよということが、章ごとに入っているのが良いなと思いました。

小城委員 東書と日文でどちらかみたいな感じで思ったのですが、教科書の右側にそれぞれ年表がありましたが、東書にはメモリが入って、江戸時代のどの辺りとか、明治時代のどの辺りとかというのが、他より明確化されているなというところで、今どの時代を学んでいるか分かりやすいかなというふうに思いました。同じように年表があるのですが、その単元の最後に、まとめの活動というものがあり、結構こういうのは大事だと思っています。その中で一つ一つの言葉に対して、それがどこのページに載っているか等の記載があるので、ふり返りやすい。答えへのヒントといいますか、ページをめくる作業も効率的になるのではないかなというところで、ストレスなく勉強ができるのが東書の教科書かなというふうに思います。

小西教育長 その他どうでしょうか、よろしいでしょうか。意見をまとめると、「非常に

年表等の活用が上手く、時代感覚を子どもたちが捉えやすい。」というような意見、また、「平和について、民衆の立ち上がり等についても非常に丁寧に記述されている。」ということ、「学びのふり返りが容易にできる。」そのような意見が出ました。

それでは、採択すべき発行者、そして理由について確認をしたいと思います。社会、歴史的分野については、発行者は「東書」、理由については先ほど述べたようなところではないかなと思います。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは小田会長、公民的分野をお願いします。

小田会長 公民的分野です。公民的分野も「東書」です。その選定理由として、各章の初めに、または章末に学習意欲を高める工夫がされています。また章の初めには、導入の活動が設定されており、学習の見通しを持たせるとともに、探究課題へとつなげています。また、章末のふり返ろうでは、節の問いを解決する活動を通して、主体的に学習に取り組む工夫がなされています。また、子どもたちに学んだ喜びが持たせられるような工夫もあります。例えば、第1章「現代の社会と私たち」という单元ですが、町の地図を俯瞰しながら、どのような課題がこの町にあるのか、課題を見つけ、その課題を解決するためにどんな方策が考えられるのかということ子どもたちに考えさせる工夫が章の初めから設けられています。その課題を解決するために、細かい単元が組まれているというのも大きな特徴だと思います。また、子どもたちの生活に密着しているような事例を取り上げているのも、主体的な学びに繋がる取り組みだと思います。例えば、責任と義務という中で、折り合いをつけながら生活していくことの必要性や、どのように合意形成を図っていくことが求められるかということが部活動の事例を通して学べます。そういった事例を通して学べる工夫も東書にはあるように思いました。

小西教育長 それでは、質疑に入ります。質疑はありませんか。

小城委員 公民は、個人的にはどれも甲乙つけ難いなと思っていました。その中でも金融、経済、円高、円安の話があります。テレビで中学生の子どもたちもニュース等を見るような歳になってくるかなと思うのですが、一体円高って何だ、円安って何だというところでピックアップして見たときに、東書、日文、教出も良いなと思いました。教出は言葉の説明が書いてあるだけで、日文は答えが1ドルいくらになったらいくらという答えが書いてあるのですが、東書だけは、1ドルが何円になったら何円かとか、答えがあるようで実は考えさせるため、円高と円安というイメージが湧きやすく、この言葉を考えるきっかけになると思いました。日本だけじゃなくて、世界とつながっているということが分かります。グローバルな内容も勉強し始める年頃になってくると思いますので、そのほうが意欲が湧くし、自分で考えるということになると思いますので、東書が良いと思いました。

中田委員 私も公民に関しては、甲乙つけ難いなというふうに思いました。主に東書と日文を比べさせていただいたのですけれども、東書で良かったところが、18歳へのステップというところに選挙の流れというページがあります。選挙権が18歳からになるということで、中学生のうちからそういう意識づけや説明もあり、親切だなというふうに思いました。

市川委員 この社会の三つの分野においてですが、この流れがどの分野もすごく似てい

ると言いますか、生徒にとってはすごくそれが取り組みやすいのではないかと思います。特に探求課題や基礎的な知識の確認をまとめの活動でふり返っていく、意見交換の仕方である等、そういった部分が三つの分野がキーワードとして似ているので、生徒にとっては学んだ喜びというところが持てるのではないかなと思いました。

小西教育長 市川委員、これは東書についてということですか。

市川委員 そうです。

小西教育長 分かりました。

池田委員 私も、東書と日文の比較をして、どちらも甲乙つけ難いなというふうに思ったのですが、導入とふり返りの部分については同じような流れであるけれども、東書は細かいステップがあり、導入の部分から疑問を投げかけ、それを解決していくためにこういう資料を使って、こういう流れで、そして最後にそれをふり返るというような流れになっていて、東書が良いかなというふうに思いました。

小西教育長 ありがとうございます。それでは採択すべき発行者と、その理由について確認をします。社会の公民的分野につきましては、発行者は「東書」、理由は、「子どもたちの学習の意欲を高める工夫がされている。」や、「身近な生活の中にある課題、もしくは地域課題等を具体的に学べるような学習内容になっている。」です。

それでは、小田会長、地図についてお願いします。

小田会長 続けて、地図です。選定委員会では、地図については、「帝国」となりました。選定理由としては、鳥瞰図があるので非常に分かりやすく、地図としての機能を果たしている、地理的な認識が深まります。どういうことかと言いますと、例えば、北アメリカの資料については、帝国の地図帳は空中から眺める、鳥の目で地形を見るという鳥瞰図があるので、ロッキー山脈がどれぐらいの規模にあるのかということが非常に分かりやすく示されていると思います。

それから、小学校からの流れも意識されており、小学校から中学校への移行としても工夫があります。小学校で学習した地図の約束をふり返ろうというところから入っているというのも特色です。また、地名を探すにあたって、辞書と同じように地図帳も索引を通じて地名を探していきます。そのときに、索引の引き方というところがあるのですが、ここについても引き方が非常に丁寧に示されていますので、初めて出てくる地名についても調べることができるような工夫がされています。

また、帝国だけは、大陸から見た日本を示す地図が示されています。例えば、アメリカ合衆国の地図があるのですが、日本が同緯度だったらどこに位置するのかという、日本列島の地図がアメリカ合衆国に併せて記されている。南半球のオーストラリアでは、赤道を挟んでどこの位置にあるのかということがあることによって、緯度や経度という認識も養えると思います。

小西教育長 それでは、質疑はありませんか。

中田委員 私も帝国が良いと思いました。地図を見ても色使いで高低差がより分かりやすいというところが一番良いのではないかなというふうに思います。見やすさでいったら帝国が良いと思いますが、1点、東書も良いなと思ったのが、日本の地図で、いろいろな地方の特産品が地図の中に書かれてあるのですが、それについては、東書の方がいろいろと詳しく載っているなというふうには思いました。

市川委員 二つの教科書を見ると、帝国の方が地図の表記がすごく詳細であり、適切なのではないかなと思いましたし、小学校も帝国であるというところから行くと、連動して開いたときに同じような地図が見られるというのが取り組みやすいのではないかなと思っています。

また特色として、世界遺産を取り上げて詳しく載せているというところとか、情報量が豊富であるのはやはり、帝国ではないかなと思いました。

池田委員 地図の後ろのいろいろな資料を見ました。それを見ると、帝国は資料が新しいのかなというふうに思いました。人口なんかは若干ですけど変わってきているので、21年と22年でたった1年ですが、そういう指導面からも、帝国が良いかなと思いました。

小西教育長 それでは、意見としては、東書もありましたけれども、帝国の意見のほうが非常に多かったようにも思います。採択すべき発行者と理由についての確認をさせていただきます。地図につきましては、発行者は「帝国」、理由につきましては、「情報量が豊富である。」とか、「色使い等も非常に見やすく、とりわけ高低差等が分かりやすい。」そのような意見が出ております。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 小田会長、数学をお願いします。

小田会長 選定委員会では、第1候補として「学図」、第2候補として「東書」という選定をしております。それぞれの選定理由について説明をさせていただきます。まず、学図ですが、考え方を説明する問題は、考えを説明するためにどんな表現が必要なのか分かりやすいよう、例えば、穴埋めの形式になっていたり、説明のモデルが示されたりしています。それから、中学生にとっては、証明の単元が非常に苦手な子が多いのですが、証明の進め方、考え方について細かく説明があり、一つの問題を例にして、図を使って根拠となる事柄をまとめて表記してあるのが分かりやすいです。それから、規則の混じった計算については、説明のモデルが示されることがあって、その後の例題も非常に分かりやすくなっていると思います。また証明については、苦手とする生徒がやや多いのですが、2年生の教科書には丁寧に説明がしてあって、証明が苦手な生徒にも理解しやすい工夫がされていると思いました。

東書は、1年生の深い学びのページでは、生徒が問題解決の進め方を意識しながら取り組めるよう、問題発見、解決の過程が具体的な活動で示されています。また、生徒の思考を深めることができるよう、図や式を使って自分の考えを説明し、伝え合う活動とともに多様な考えを認めたり、共通点や相違点を見つけたりする活動が設定されています。

以上の理由で、第1候補として「学図」を、第2候補として「東書」を選定委員会としては確認しました。

小西教育長 ありがとうございました。選定委員会では二つ発行者が挙がっております。学図、そして東書ですが、どちらでも構いません。まず質疑を受けたいと思います。

池田委員 先ほどの国語にもあったのですが、調査委員会で1者に絞れなかったのは、どうしてですかね。

小田会長 それぞれにやはり良さがあるということです。ただ、総合的に見てみますと、学図のほうが総合的にはよいのではないかなということになりました。

池田委員 私も、東書と学図と、もう一つ、数研も良いなと思って見ました。先ほど小田会長が言われたように、証明についてやはり生徒が難しいと嫌いになってし

まうところなので、そういう意味では、学図が丁寧に取り扱われているし、直接教科書に書き込むというところの部分も学図が多かったのですが、やはりノート指導というのもすごく大事なので、教科書に書き込んでいくというよりは、ノートでそれはクリアできるかなと思いました。

数研も親切で、カラーもあって分かりやすい書き方がしてあるなと思いました。三つで迷った挙句、私は、やはり東書かなというふうに思いました。数学は、小学校の算数からの続きで段階的に上がっていくものなので、小学校からの学習を踏まえて導入をされていて、その流れが各単元の中にあるなと思いました。

中 田 委 員　私も主に東書と学図で比べさせていただきました。どちらも詳しく説明されているのですが、子どもの目線から見て学力の幅を考えたときに、より分かりやすいのは学図なのではないかなと思いました。先ほど池田委員がおっしゃったように書き込みがあるので、ノートがどうかというところもあるかとは思ったのですが、算数から数学が変わって、ぐっと学ぶ内容がレベルアップされたときに、より多くの生徒が理解できるといった側面から見たら、学図のほうが親切なのではないかなと思いました。目標が合間合間に設定されていたり、始まり、導入の説明の部分ですと、どう使ってどう求めるのかというところとかが書かれてあったりしました。やはり数学は得意と苦手がすごく出やすいと思うので、そういった部分から見て、私は学図が良いかなというふうに思いました。

小西教育長　1点、質問をよろしいですか。東書の中の意見で、「深い学びのページでは、生徒が問題解決の進め方を意識しながら取り組めるよう、問題発見・解決の過程が具体的な活動で示されている。」というところがあります。問題発見、解決の過程が具体的な活動で示されているというところで、このような形で指導を展開しているというところを紹介していただけたらと思います。

小 田 会 長　東書は、デジタルコンテンツの使い方というところで、どの単元にも1単位当たりの授業において、導入・活動・演習、そういった流れで進められるようになっていきます。自学自習をするのであれば、より主体的な学びを経験させることとしては、そういうふうな授業の進め方も考えられていると思いました。

市 川 委 員　数学について大竹市は、随分とこれから考えていかないといけないなと思いました。去年の全国学力調査を見ますと、県平均よりも大竹市は下回っている、特に図形の問題ができていないということから、教科書なのか、指導者側なのかというところで見えていったのですが、学図の教科書は、基礎学力をどのようにして上げていったら良いか、全国調査をいろいろなところで問題の中に入れていって、数学の学力を高めていこうという工夫がいろいろな点で見られるのではないかなと思いましたので、そこら辺りをこれから課題として取り組むことができるのではと思いました。そういった意味では学図の教科書は随分と工夫がなされている。基礎基本の定着もできるようになっているし、主体的な学びへと繋げていくようなものになっています。例えば、計算の仕方を説明させる場面を設定したり、問題解決に向けてグループでどのように取り組んでいったり、ノートのまとめ方についても、具体的に提示がしてあるという部分では、すごく工夫があるのではないかなと思いました。そこら辺りを考えていくと、学図の教科書はよいのではないかなと思いました。

小 城 委 員　数学は、本当に昔の教科書に比べたら大分見やすくなっているなというのが個人的な印象ですけれども、その中で私は今出ている学図と東書と数研の三つ

で悩んでいて、数研は高校ぐらいになってきたら問題集等をやるときに、数研の問題って多いなというふうに思います。数研の問題集が多いと思うので、そういった点から見ても数研のほうが参考書、問題集っぽいなという、教科書よりも参考書というようなイメージがありました。

3年生の教科書で、三平方の定理ですね、そこをピックアップしてみたときに、数研は普通に説明が書いてあるだけで、東書も同じですね、3対4対5といったのが書いていますけれども、学図だけが三平方の定理の発展といいますか、数学へのいざないという右下のところで、数学が身近に感じられると工夫があって、しかもその下に、関連する職業・仕事、測量士・大工と書いてあるのですけれども、数学って何で学ぶかというところの一つのきっかけにもなると思いますし、考え方の組立てを数学的に考えるというのはもちろん大事ですけれども、足し算・引き算・掛け算・割り算だけじゃなくて、数学を学ぶことによってこういったものに生かされていくというのは、結構多いと思いますので、そういった意味では教科書として見て実情に即しているというのも加味して、学図が良いなというふうに思いました。

小西教育長 学図という意見が多かったように思います。それでは採択すべき発行者、そして理由について確認をしたいと思います。数学につきましては、発行者「学図」、理由としましては、「数学を身近に考えていく工夫、その辺りがしっかりとあるのではないか。」「子どもの目線でも学図の教科書の内容については、非常に分かりやすいのではないか。」という意見が出ています。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは続きまして、理科に移りたいと思います。小田会長、よろしくお願いいたします。

小田会長 続けて、理科です。理科については選定委員会では「東書」を選んでいました。その理由として例えば、溶解度と再結晶の單元ですが、そこには「じっくり探求」というタイトルがつけられています。この東書の教科書は問題発見、そして仮説、実験、分析、解決をしようという流れが示されていて、非常に考えやすい工夫がされていると思います。また、実験の結果がすぐ掲載されているのではなくて、仮説検証し、そのまとめで学んだことをチェックしようというコーナーを設けて、簡潔に振り返ることができるようにしているところも主体的な学びに繋がる工夫だと思います。またそのことは、1年生の教科書ですが探究の流れを確認しようということで、丁寧に冒頭部分で説明がされているのも非常に分かりやすいと思いました。

小西教育長 質疑に入りたいと思います。質疑はございませんか。

小 城 委 員 啓林館については何か話は出なかったですか。

小田会長 啓林館については、話が出ています。実験器具の写真が大きくて非常に分かりやすい。また、QRコードによる説明も分かりやすく、自己学習に向いているという意見が出ております。

小 城 委 員 そうなんです。そういう理科の実験とかという体験する・させるというのは、なかなか社会に出て仕事で出会わないかぎり、目にすることがないと思うのですけれども、そういったのが教科書の段階でも実際のものが使っている、イラストじゃなくて、写真を使って掲載しているなというのは啓林館だったという印象です。やはりそういった実体験ができるようなテキストという視点も

含めて選ぶ基準の一つになったらなと思います。

市川委員 私も今の部分について言えば、啓林館が観察、実験が豊富で、的確な記述になされているということと、小学校の段階で繋がる学びとして考えていくと、小学校で啓林館があるわけですね。ですから、小中一貫教育を考えていくと、啓林館を採択すると、小学校から中学校へつながりやすいのではないかと思います。

東書については、やはり学習課題解決であるとか、自ら学ぶという点でいけば、東書は工夫がなされていて、とにかく理科というのは、問題提示があれば、その次のページを見れば回答が分かるというような示し方が多いのですが、そこから辺りが東書はグループで学習をさせて、どのように解決していったかというような過程が上手くなされているなと思いました。

中田委員 私も啓林館と東書で主に比べさせていただきました。東書はすごく写真等が鮮やかで、ぱっと視覚的には入ってきやすいと思ったのですが、私も主に啓林館の実験とかもですけど、要所要所に「私のレポート」というところがあって、まとめ方の例が具体的に示されているとか、あとはQRコードの振り返りシートというのを見させてもらったのですが、そこが充実しているなと思いました。そこも書式がPDFとかエクセルとか、またスプレッドシートとかでいろいろと選択ができるので、タブレット活用もできるのかなというふうにも思いました。

池田委員 実は私も啓林館と東書でどっちかなというふうに思っていたので、一つお聞きしたいのですが、啓林になくて東書のほうが優れている点で明らかかなところがあれば教えてください。

小田会長 東書もQRコードから実験の説明が非常に丁寧で、その考え方や手順がよく分かる工夫がされています。そのことによって理科が苦手な子、実験が苦手な生徒も十分理解をすることができるなと思いました。

また、東書はつまずきやすい内容については例題として取り上げ、非常に丁寧に説明がされているのもポイントだと思います。「ここがポイント」という欄で、さらにそれを強調し、学習の遅れがちな生徒への配慮が十分なされていると感じています。

池田委員 もう一点、先ほど市川委員が言われた、小学校との繋がりについては、どのようにお考えでしょうか。

小田会長 これは選定委員会の中では、その小学校とのつながりというのは、残念ながら言及されていませんでした。

小田会長 選定委員会ではやはり先ほど説明したことと重複するのですが、つまずきやすい内容については、例題を取り上げて丁寧に解説をしているというのが非常に大切にされた意見です。また、章ごとにビフォーアフターというものを設けて、学習の前後の変容について考える場が設定されているということも、選定委員会の中では出た意見としてありました。

小西教育長 小田会長、選定委員会でも、この会議の中でも啓林館、そして東書というふうな意見がいろいろと出て分かれているわけで、選定委員会の中では多分いろいろな意見がそこで交わされているのではないかなと思いますので、その辺りもう少し紹介をしていただけますか。

小田会長 啓林館が良いという理由については先ほども申しましたように、実験に関わっては非常に図が大きかったり、実物大であったりするというのは非常に分かりやすいです。ただ、理科という教科において、主体的な学び、探究的な学び

をしていく上では東書の方が主体的な学びに繋がる工夫が非常にされているという意見が多くを占めていました。

小 城 委 員 啓林館は私自身が生徒だったらというのも含めて、どちらのほうが見やすくて学びやすいかなという生徒目線で見たと、先ほどから説明の中にある難しいところ、つまずくところ、そのフォローというところが先生側で、東書のほうが明らかにクリアできるというような根拠がもうちょっと分かるような形で説明をしてもらえたらと思います。要するに、啓林館じゃないといけないとか、東京書籍じゃないといけないとか、こっちのほうが生徒として、教える側としては非常に使いやすい教材であるということをお伝えしていただけたら良いかなと思いますので、よろしくお願いします。

小西教育長 指導する側として狙いを達成しやすい、指導しやすいというような意見等をもう少し紹介していただけたらと思います。

小 田 会 長 東書の1年生の教科書で、第3章水溶液の性質には例題として示されていて、練習問題についてもQRコードで読み取ることができるようになっています。また、その考え方についても2通り、1と2と示してあって、そのことが本当に習得されているかどうかについては、さらに練習として二つほど項目を設けていて、その練習の回答が逆さ文字で書いてあるのですね、回答がすぐそこに。なので子どもにとってはその内容が本当に理解されているかどうか、例題を通じて自分で達成度を測ることができる工夫がされているというのは、非常に大きいと思いました。それについては、硝酸カリウムの事例についても同じように書いてあります。また、学んだことをチェックしようということで、物質が水に溶ける様子であるとか、溶解度と再結晶についての要点が穴埋め方式でまとめることができるようになっています。さらに最後には、今回の学びを実生活や社会に広げようということで、身の回りで考えられる視点が示されているのも特徴の一つだと思いました。

小 城 委 員 ありがとうございます。今先生から説明いただいた水溶液の範囲、それだけをピックアップして見た場合に、確かに東書の質量の砂糖水の分の説明というのは、一つのページで問題提起から例題から答えが出て、練習問題までであると思いました。よくよく啓林館を見てみると、1年生の塩化ナトリウム水溶液のところ、その文章が説明等もありますけれども、ここでの分かりやすさでいったら、確かに東書かなと思います。全体的に見ても構成が工夫されていて、東書の方が見開きで左と右で、「ここがポイント」というところで、濃度の求め方とかの式が書いてあって、例題を通して勉強するというのは、確かにページをめくって勉強するよりかはやりやすいかなと、指導もしやすいかなと思います。説明ありがとうございました。

中 田 委 員 先ほど小城委員がおっしゃったように、啓林館と見比べてみたのですが、やはりよくよく見てみると、東書の方が求め方がより詳しく書いてあり、具体的に解説してあるというところに目を向けてみれば、納得するなと思いました。

池 田 委 員 私もどちらかなというふうに思っていたところですけど、先ほどの説明を聞いていて、啓林館は最後にいろいろな問題があって、振り返りの部分はすごく充実していると思うのですが、子どもたちのつまずきであったりとか、それから探究という部分での学習意欲というか、そういう部分でいうと東書なのかなと説明を聞きながら思いました。

市 川 委 員 見比べた場合、啓林館は随分と生徒に理科についての関心意欲を持たせなが

ら工夫、課題解決につなげているという部分では啓林館かなと思いますし、東書の良さは、学習内容の整理で單元ごとにきちんとそれぞれ生徒へ学習のまとめ方を示して、ふり返らせる、そしてその単元の学習を今度の場面で生かしていくというところでは、東書になるのではないかなと思いました。

小西教育長 発行者について理科は「東書」、理由につきましては、先ほどからたくさん出ていますけれども、「学習過程で工夫をされている。」「子どもたちのつまずきについてもしっかりとクリアできるのではないか。」という意見が出ています。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは続いて、音楽の一般に移りたいと思います。小田会長、よろしくお願いします。

小田会長 それでは、音楽の一般です。選定委員会では、一般は「教芸」となりました。その理由としては一つ目ですが、1年生の音楽を形づくっている要素というのが示されています。この目安になるものというのがきちんと示されており、例えばはるかなる道へという「We 'll find The Way」という合唱では、その左下に音楽を形づくっている要素で今回は二つが示されています。音楽を形づくっている要素の何をそのときに学習しているのかということが分かる工夫がされています。また、自分でメロディーを作っていくということで、メロディーをつくる上での考え方の基本や創作意欲が湧く工夫がなされていると思いました。また、イメージと音楽というところでは、子どもたちに身近な音楽として様々な映画とその音楽、ゴジラやE・T、バック・トゥ・ザ・フューチャーやハリー・ポッターなどの事例を通して学習に向かわせられ、QRコードを読み取ると非常に興味・関心が湧く工夫がされているという理由で教芸となりました。

小西教育長 それでは、質疑に移りたいと思います。質疑がある方、よろしくお願いします。

中田委員 私も教芸が良いと思いました。各音楽というか一つ一つのページに目当てが書かれていると思うのですが、そこにプラスして問いかけ、歌詞に込められた思いは音楽にどのように表されているだろうというのとか、その各単元にそういう問いかけがあるのが良いと思いました。それと指揮をしてみようというところがあるのですが、教出に比べてすごく具体的に示してあるなと思いました。あとまた、民謡ですとか、各国の民族音楽についても、より詳しいのではないかなと思いました。

市川委員 私も教芸が良いなと思いました。理由は基礎・基本的な学習を踏まえてから、より深まりのある学習へと発展性があるということで、学習に取り組むことができるように工夫がなされているということです。

鑑賞教材については、曲の構成や楽譜、ワークシートによってより深く学べる工夫がなされているのではないかと思います。また、中学生になじみのあるミュージカル等が、新たに付け加えられているという工夫がなされていると思います。よって、教芸が良いと思います。

小西教育長 それでは、採択すべき発行者と理由について、確認したいと思います。音楽の一般については、発行者は「教芸」、理由は「各單元ともに問いを大切にしている。」や、「基礎・基本を重視しながら発展させる学びへとつなげている。」という辺りを理由とさせていただきます。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは続いて、音楽の器楽合奏についてお願いします。

小田会長 器楽です。器楽は「教芸」です。選定理由として、市内の学校に伝統的に根づいているリコーダーを取り上げているという点です。また、その取り上げ方も非常に紙面を割いて大きく見やすいように工夫されていると思います。また、リコーダーのタンギングや姿勢にも多くのページが割かれてあると思いました。また、琴のところですが、教芸は、日本の伝統的な音楽の内容も大切にされていると思います。

小西教育長 これより質疑に入りたいと思います。質疑はございませんか。

池田委員 私も教芸が良いと思います。理由は2点、1点目は先ほどの一般の教芸とやはり同じ教科書で、つながりがある方が良いのかなと思うのが1点と、やはり伝統的な器楽について丁寧に取扱いがされているなというふうに思いました。今大竹でやられているかどうか分からないですけど、ずっと琴を栗谷の子どもたちがやってきたこともあるので、しっかりと日本の文化になじみの多い楽器について丁寧に取扱っているのが良いのかなと思います。

市川委員 私も教芸が良いなと思いましたが。例えば学びのコンパスや、考えたいポイントによって、課題意識を持たせながら主体的に学習に取り組むことができるように工夫がされています。また、先ほどから出ていますように、琴などの和楽器の取り扱いについても、写真や図をふんだんに用いて分かりやすく説明されているところが良いなと思いましたが。

また、リコーダーも先ほど説明が出ましたが、リコーダーの種類とともに器楽を知ろうなど、生徒が興味を持って学習ができる工夫が示されているという点が良いと思いましたが。

中田委員 私も先ほどの音楽、一般からのつながりも考えて、こちらも教芸が良いと思いました。リコーダーはもちろん、先ほどおっしゃったような琴で旋律を作ってみましょうという取り組みがすごく面白いなと思いましたが。

小西教育長 それでは器楽合奏については教芸という意見が多いため、採択すべき発行者と理由について確認をしたいと思います。

音楽器楽合奏につきましては、発行者は「教芸」、理由としましては、「本市の実態に即している内容となっている。」「琴等の伝統音楽等についても詳細にその取扱い等が示されている。」という意見が出ました。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは小田会長、美術についてお願いします。

小田会長 選定委員会としては「光村」の教科書を選定しております。その理由は、別冊で資料というのがあり、本当に分かりやすく、またこの別冊になっていることから、どの学年でもこの別冊を用いてデッサンであるとか、版画であるとか、基礎・基本が見てとれるので、子どもたちにとっては非常に学びが深まっていくと考えております。特にデッサンのQRコードについてはとても分かりやすく学習がしやすいと思います。また、教科書では、風神雷神図屏風はどの教科書にもありますが、光村は非常にダイナミックな大きさで、それぞれ風神雷神図屏風が左右見開きで、実際の金屏風の質感も伝わってくるような工夫がされていて、非常に良いと思います。

よって選定委員会としては、光村の教科書を選定しています。

小西教育長 それでは、質疑に入りたいと思います。質疑はございませんか。

1点、質問をいいですか。美術ですので、当然子どもたちの制作意欲がとても大切にされるのだと思うのですが、中身にそういう子どもたちの制作意欲を高めるであるとか、そういう辺りのもので紹介できるものがあれば、紹介をしてください。

小田会長 例えば、「自然の形や色を見詰めて」という単位では、実際に子どもたちがフィールドに出向いて行って、葉っぱや石を採取するのですが、その説明に子ども自身のものが写真で活用されている、つまり同じ中学生が採取した写真を見ることで、その写真と自分を重ね合わせて学習に取り組むことができるところが、非常に親しみが持てる工夫がされていると思いました。

中田委員 私も光村が良いと思いました。理由としては、1年生に心引かれるこの風景、その次にみんなの工夫というふうにあって、それぞれ中学生がどういうふうに感じて、どういうふうに描いてみたいとか、どういうふうに描いたかという具体例をより身近に感じられるような表記がどの単位にも大体入っているので、美術が苦手な子にとっても親しみやすくなるのではないかなと思いました。

あと先ほど、風神雷神の絵もそうですが、火焰型土器が原寸大で一部は映し出されて、QRコンテンツも結構面白かったので光村が良いと思いました。

池田委員 私も光村が良いと思いました。全体的な作品の数も光村が非常に多くて、資料もたくさんあると思いました。開隆堂の表紙の手触りがよく、導入的には面白みもあったのですが、中身としてはやはり光村かなと思いました。

小城委員 先ほどあったとおり、資料を作ってみよう、見てみようとかという1年を通じて役に立つようなのが別冊であるというのは、これは大きいツールだなと思ったのと、2年・3年のところに日本の絵画、和紙っぽいような日本の絵画を楽しむ5つのキーワードというところも雰囲気が感じられる紙の質感です。そういった工夫がしっかりとされていることと、日本の絵が実は海外にも影響を与えているとかという説明のところも含めて、光村が良いなと思いました。

市川委員 随分と光村の教科書は、鑑賞教材にすごく力を入れているなと思いました。特に鳥獣戯画を原寸大で、これは生徒にとっては興味のある図だと思うのですが、それを原寸大で示してあり、富嶽三十六景、これもやはり原寸大ということで、工夫しながら示していますので、生徒がすごく興味を持って学習を進めていくのではないかなと思いました。そして学習の流れが、まず1人でじっくりといろいろな鑑賞図を見る、そして今度は自分なりに考えていく、そして自ら調べる、まとめるという過程を取っていると思います。それと先ほど、制作技術の高め方ということが出たのですが、これがうまくこの美術の資料の中に作ってみよう・見てみようということで、この中にやはり制作技術を高めるための基礎的な部分、要素を載せてあるので、これを生徒が読んで自ら考えて応用していくという部分については、すごく良い資料だなと思いました。

小西教育長 採択すべき発行者、理由について確認をします。美術について発行者は「光村」、理由は「別冊の資料があり子どもたちの学びをフィードバックできる。」という意見が出ました。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは小田会長、保健体育をお願いします。

小田会長 続けて、保健体育です。保健体育は、選定委員会としては「学研」となりました。選定理由としては、1時間の学習の流れが示されている。具体的に言いますと、1、スポーツのはじまりと発展では、ウォームアップ、エクササイズ、

学びを生かすなど、系統的な学習ができるような工夫がされています。また学研は、よりよく生きる世界をつくるということで、ページの右上にウェルビーイングという言葉を出して、今社会で求められている幸せについての考え方について示唆を示している。また、ウェルビーイング自体の説明についてもされています。また、文字がUDフォントを活用されており、非常に目に優しい教科書であるなという意見も出ています。

小西教育長 質疑に入りたいと思います。質疑はございませんか。

小 城 委 員 中学生ぐらいになると、どうしても性についてとかいろいろとあると思うのですが、その中でそれによる被害等の数字の根拠というのが、大修館には掲載されており、それだけ選ぶというわけではないのですけれども、小学校・中学校・高校で被害に遭った子どもの数とかという実情が明確になっているところは、思春期でもあり本当に気をつけないといけないことなので、子どもたちに対してのアプローチとしては分かりやすい教材になっているのかなというふうに思いました。全体的に大修館のほうが個人的に見やすかったといえますか、色合いもそうですけれども、イラストや文章の流れ、見出しの書き方、表記にしてもそうですが、順を追って読みやすかったなという印象だったので、学研の方が他の部分よりもここが優れているというところを教えてくださいましたらというふうに思います。

小 田 会 長 例えば選定委員会が出たのは、感染症、例えばコロナウイルスについては5類に移行し、終息に向かっているところもありますけれども、これからは別の感染症が出てくる可能性もなきにしもあらずということで、学研については、健康な生活と病気の予防ということで、感染症についても終息しつつも知っておかなければならないということで、丁寧に扱っています。また、先ほども言いましたように、ウェルビーイングという考え方についても言及をしているのは、この学研であります。

小 城 委 員 ありがとうございます。確かに感染症は本当につい数年前から声が大きくなってきたなと思いますし、この大修館は感染症ではなくて、今までの喫煙とかがんとか、自分自身もそうですけど、生活習慣病に対して気をつけないといけないとか、そういったものが特徴ですが、現在の保健体育の教科書として先ほどの説明のとおり、感染症、新型コロナウイルスという一つの日本中、世界中の経験というところを取り上げているというのは、確かに良い選定理由の一つになるかなと思いました。ありがとうございました。

小西教育長 小田会長、1点質問ですが、昨年度学校保健総会で、がん教育の講演会を実施して、今後は取り組みも必要じゃないかなというようにお話をいただいたのですが、がん教育についての内容はこの教科書の中でどのような形で取り扱われているのか教えてください。

小 田 会 長 学研ではがんとその予防ということで、がんとはそもそも何なのか、がんを予防するためには何が必要なのか、またそれに関連して、喫煙と健康や、飲酒と健康などそういったことにページがしっかりと割かれてあって、がん教育を推進するに当たって、この教科書が十分活用できると思います。

市 川 委 員 学研の特色といいますか、良いところは他の教科書と違って、ふり返ろう・確かめよう・生かそうということで、各章の最後に自己評価欄ですか、チェック欄がついています。そして学年のそれぞれのまとめの中でもその学びをふり返ってということで、自分の自己評価を高めていくという欄があると思うのですが、やはりそういった記入方式によって1年間どんな体験ができたか、ふり

返ることができるのではないかなと思いました。また、指導者も評価にもつなげていくことができるので、学研は他の教科書よりは、そういったところが特色として挙げられるのではないかなと思いました。

小 城 委 員 学研が本当に良いなと思ったのは、ページの左下の方にジョブがあるところです。中学生がこれから高校生、社会人になるに向けて「こういったのがこういうことに繋がるんだ」とイメージしやすいのかなと思いました。こういうちょっとしたエッセンスみたいなものがあるのは、本当に授業中にずっと読み続けてしまいそうだなというふうに思いましたので、良いと思います。

池 田 委 員 私も大修館と学研のどちらかなと思います。大修館はまとめとふり返りがすごく充実しているなと思ったのですが、よく見ると、学研にもしっかりとまとめとふり返りがあり、しかも途中でふり返りがあるところがあるので、そういう意味では学研が良いのかなと思いました。

中 田 委 員 私も大修館を主に見ていたのですが、大修館と東書が結構似ているなというふうには思っていました。学研はどうなんだろうなと思っていたのですが、先ほどもおっしゃったようなウェルビーイング、こちらに関しても、他よりかは詳しく触れられているので、学研で良いのではないかと思います。

小西教育長 それでは、採択すべき発行者と理由について、確認をしたいと思います。保健体育につきましては、発行者は「学研」、理由としては、「ウェルビーイングの実現に繋がるような構成がされている。」また、「教科書の中に将来の仕事へのヒントとなるものが明記されている。」と意見が出ていました。よろしいでしょうか。

委 員 一 同 異議なし。

小西教育長 それでは続きまして、技術・家庭（技術分野）についてお願いします。

小 田 会 長 技術分野です。技術分野については「開隆堂」となっております。その選定理由として、技術の仕組みの最適化という考え方について冒頭で非常に丁寧に説明してある、それも事例を通して説明してあることによって、技術の授業の必然性、学ぶ意義というものが分かると思いました。また、豆知識として、実生活に活用する見方・考え方や、その情報が示されているのも大きな特徴だと思いました。

またQRコードの読み取りで、教師は子どもたちに指導しやすくなるのではないかという意見が出ています。

小西教育長 それでは質疑に移りたいと思います。質疑はございませんか。

小 城 委 員 この技術のところ、どこに着目して特に見ていったら良いのかなと思っていたのですが、いろいろと木工でやるという単元があったのですが、全体的に開隆堂の資料の絵が大きかったので、とても見やすいなと思いました。それと、この技術を学ぶことによってどういったことに繋がるかというのが、実際に人が登場して日本一かわいいものを作る家具屋さんを目指してや、好きなことを仕事に造船の道へ等という、ただ授業でそれぞれの科目を学ぶというだけじゃなくて、それが何のために、どういうふうに生きていくのかというところを逆算していったときに、やはりこういった一言があるというのは教科書の中でも大きいなと思いますので、開隆堂が良いなと思いました。

市 川 委 員 技術家庭は開隆堂が良いなと思いました。東書と比べたのですが、課題解決のふり返しシートで各過程をふり返し、さらにより良い取り組みにしていこうというところで開隆堂が良いなと思いました。そして学習のまとめの設定が取り組

みやすく、グループの話し合いに生かすことができるように評価、改善につながっているというところで、開隆堂の方が工夫があるなと思いました。

池田委員 私も開隆堂が良いなと思いました。私も東書と比べてみたのですが、開隆堂のほうがり返りのシートが丁寧に作られているのと、それから課題発見・解決、それから評価という流れがすごく分かりやすく、ページごとに工夫されているなというふうに思いました。

中田委員 私も開隆堂が良いなと思いました。特に実習のところで道具の使い方、この辺がかなり詳しく、本当の中学生の写真で説明をされているので、その辺りは分かりやすくて良いなと思いましたし、小城議員がおっしゃったように、各章の最後にその分野に携わっている人々のインタビューがあるのも良いなというふうに思いました。

小西教育長 それでは、採択すべき発行者と理由について確認をしたいと思います。発行者につきましては「開隆堂」、理由は、「ものづくりを楽しむ中で、中身が非常に充実している」という意見が出ました。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは続いて、技術家庭の家庭分野についてお願いをします。

小田会長 家庭分野は、「東書」となっております。その選定理由として例えば、様々な料理のレシピが写真とともに載っており、その量も非常に豊富であるということから、作ってみたい、チャレンジしてみたいと子どもたちに思わせるのではないかと意見が出ております。また、QRコードでは、包丁の使い方が丁寧に分かりやすく、左手の生徒にも配慮した動画がありました。また、3生活に生かそうというところでは、その中でできるようになるまで取り組んだこと等、粘り強く取り組むことによって達成できる、そういった視点が示されているのも魅力的だと思いました。生活の課題と実践ということで、実践例が示され、実生活と結びつく学習になるような工夫がされていると思いました。

小西教育長 それでは質疑に入ります。質疑はございませんか。

市川委員 私もうやはり写真がすごく鮮明であるということで、生徒の興味づけや実習もしやすい、取り組みやすいし、解説書が分かりやすい、作ってみようという意欲につながっていくのではないかと思いました。また、家庭でも1人でいるときには進んで調理することができるのではと思いました。

それと洗濯ですが、洗濯で特に生活の課題として、自分の妹とか弟とか幼児のためにおやつを作ってみようとか、地域の人と炊き出し訓練などを開催しようということで、地域行事に積極的に参加するという部分では、地域と密着していくということで工夫された教科書になっていると思いました。

池田委員 先ほど技術のところでは開隆堂で、今度は家庭科分野になったら東書となっているのですが、その辺りは同じ教科書会社でなくても困るとかそういうことはないのでしょうか。

小田会長 少しその話が出たのですが、技術は技術、家庭科は家庭科ということで、特にそれでそろえていく必要は特にはないということでした。

中田委員 私は東書と開隆堂で甲乙つけ難いなという感じで、両者ともとても良いなというふうに思っているのですが、開隆堂は、調理でだしの取り方が書かれてあるのですが、東書はいろいろな種類のだしの取り方、開隆堂は多分鰹だけだったと思います。ちょっと細かいところですが、開隆堂が良いなと思ったのが、ローリングストックについて説明されており、避難生活に対する記述は開隆堂

の方が多めだったかなと思いました。地震等の説明がより多いほうが良いなと思ったのですが、東書でもその辺りは触れられていて、実際の福島県、宮城県の中学生の体験談を記載されています。どちらも良い面があるのですが、ちょっと甲乙はつけ難いのですが、どちらも良いなというふうには思っています。

池田委員 私も東書と開隆堂とどちらが良いかなというふうに思いました。先ほど中田委員が言われたように、今喫緊の課題の災害についてすごく取り上げられているのは開隆堂ですが、調理で市川委員が言われた、たくさん出ているのは東書です。先生方の指導の仕方によって一工夫も二工夫もできる教科書にどちらもなっているんだろうな、だから先生たちがどう指導するかというところにかかっているのかなというふうに思いました。

技術と同じ教科書でなくても良いのではないかという意見が出たのであれば、東書の方が写真であったりとか、子どもたちが次に自分でやってみようという工夫は少し勝っているのかなというふうに思いました。

小城委員 幼児の生活というところを見てたら、東書は後半の方で開隆堂は前半に來ています。学ぶ順番というのは何か会議で話し合いとか出ていましたか。

小田会長 東書は、A B C Dの配列になっていて、どの領域もバランスの良い構成になっているということでした。ただ、Aが二つに分かれているため、他の教科書会社とは違う側面があります。開隆堂は、性別の役割や分業、ジェンダー、ウェルビーイング、女性差別撤廃条約等、多くの家族に関するページの割られています。そのこと自体は良いのですが、授業時数の関係からそこまでの時間を割くことは現実的に難しいのではないかという意見が出ています。また開隆堂は、幼児のふれあい体験後のまとめの具体例が少なく、一部のみしか掲載されていないという意見も出ております。

小城委員 ありがとうございます。そこに着目して見たら、先に幼児の生活と家庭を学ぶよりも、東書の先にいろんなことを学んで、中学生はいろいろなことができるから、幼児に対してこういうこともできるよとかという実践練習になるのではないかなと思います。その授業の順番のカリキュラムでいったら、私は東書の方が良いのかなというふうに思いました。

小西教育長 採択すべき発行者、理由について確認をしたいと思います。発行者につきましては「東書」、理由は、「解説書が分かりやすい。」であるとか、「子どもたちの意欲づくりに繋がるような工夫がされている。」というような意見も出ております。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 次に、英語に移りたいと思います。よろしくお願いします。

小田会長 英語については「東書」を選定しています。選定理由として、デジタルコンテンツが充実している。具体的には、デジタル教科書の資料映像や動画、単語や本文の音声に関するスピードの調整機能、またはマイク機能や、スモールトークでは動画の人物が質問することで外国人との対話をイメージした練習ができるように工夫されていました。このことによって、家に帰ってもタブレットを開いて、自学自習することができることに繋がると思います。

またQRコードを開いてみるとその内容が大変分かりやすく、発音も聞きやすい、これも自己学習に繋がる工夫だと考えています。また、単元について例えば、ハローエブリワンでは、まず最初に単元のゴールが示されており、そのゴールに対して、最後にはまとめの工夫がされていて、生徒にとって分かりや

すい単元構成となっているという意見が出ております。

小西教育長 それでは、質疑に移りたいと思います。質疑はございませんか。

池田委員 今、小学校でも外国語が始まっていると思うのですけれども、その辺りとの関連については、何か出ていますでしょうか。

小田会長 東書の関連については、適切な量といいますか、適切な接続がされているのではないかという意見でした。なぜかという、他者の教科書を見ると、小学校とのつながりを意識しているがあまり、そのページを大きく割いている教科書がありました。東書の内容と量も非常に適切であるという意見が出ています。

小城委員 英語は会社が6社もあって、その中で東書が群を抜いて良かったのか、それとも1位、2位みたいな感じで、他の科目みたいに悩むことがあったのか教えてください。

小田会長 先ほど申しましたとおり、小学校からの繋がりについても東書が良かったように、東書のここが良い、ここが優れているねという側面の話のほうが圧倒的に多かったです。

中田委員 私も小学校からの繋がりというところがすごく気になりまして、前回の小学校の英語のときには、逆に同じ教科書ではなくて、違う教科書のほうが良いという話になりました。書き込みも多めであったし、小学生に対してのニューホライズンが英語での問いかけが多過ぎないかということでした。そこからの繋がりで考えると、中学校もその流れで行ったほうが良いのか、もしくは1年生になった段階で、ここからは中学校の英語ですよというように、繋がりの方でこの教科書であればそんなに問題はないですよという、何か例があれば良いと思います。もし分かれば教えていただきたいと思います。

小田会長 例えば、教出は小学校の繋がりをするごく意識されているのですが、それはそれで良いのですけれども、内容、やはり量が多いので、そこに時間を割くと中学校で学ぶべき内容について、時間を割くことができないというデメリットもあるかと思います。そういう意味では、東書は「ユニットゼロ」というものを設けていて、小学校の学習も想起させながら、スムーズに中学校の学習内容へと移行する工夫がされているのが選定委員会の中では適切な量、内容だねという意見が出ました。

市川委員 すみません、質問がちょっとずれるかもしれませんが、こういう教科書教材を採択するときに、最初にやはり生徒の学力の問題とか課題は何かとか、話し合いをして、では教科書教材はここにしようとかという進め方はしていますかね。

小西教育長 選定委員会ですかね。

市川委員 はい、それはやはり大切なことだと思うのですよね。子どもの学力から出発をしていくということで、といいますのは今回文科省が公表した英検3級以上相当の英語力がある中3の割合が、広島県は全国平均よりもかなり低いというのが新聞に載っていました。そこら辺りも踏まえて、この大竹市の生徒の英語力をどのように高めていくかという部分はすごく大切な部分じゃないかと思いましたので、これを機に指導力が悪いのか、教科書教材が悪いのかというところも踏まえて検討していくのはすごく大切ではないかなと思いました。

全般的に見ると、先ほどからの小中の繋がりというのを考えていくのは要ると思います。教科書会社は、そういったところを踏まえて教科書教材を作っているのではないかと思います。そういった意味では東書は、小学校も扱っているし、その上、今度はそれを踏まえて中学校へというように教科書教材が構

成されています。小学校・中学校の一貫性を見ていきながら進めていくという形で、やはり教科書が違ったほうが良いということになれば、次回のときに小学校から検討していくということが必要だと思います。

小西教育長 ありがとうございます。その辺りについては事務局でもしっかり考えて参りたいと思います。

実際、大竹・廿日市・現場の教員が協議をしていくわけで、そこで大竹・廿日市の子どもたちの課題等も出されると思います。やはりその辺りを明確にしながら取組んでいけば、より子どもたちの実態に即した教科書が準備できるのかなと思います。ありがとうございます。

池田委員 今小田会長からデジタルコンテンツが充実しているというのを聞いて、やはりこれが一番大事なかなと思いました。直接聞く、それから何を言われているのかというのを聞いて返すということができるようになることが生活と結びついている、これから身につけていけないといけない部分だと思うので、そういうのが充実しているというのであれば、東書が良いかなと思いました。それから先ほどから出ている小学校との関わりで見ると、右のほうに小学校の単語とかというのがあって、そういうことも意識しながら教科書が作られているなと思いました。

小西教育長 それでは、採択すべき発行者、そして理由について確認します。

英語につきましては、発行者は「東書」で、理由については、「デジタルコンテンツの充実、そして自学自習を進めていく上で非常に内容がやりやすい内容となっている。」という意見が出ました。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 それでは続いて、道徳をお願いします。

小田会長 道徳です。選定委員会では、「日文」となっております。選定理由としては各学年とも見開き2ページに、「道徳科での学びを始めよう」を設定しています。内容を二つのパート、「どんなことをするの、どうやって学ぶの」で解説しております。また、教科書中の教材マークの意味や、話し合うときのキーワードを説明しており、話し合うときのキーワードが生徒にとって非常に取りかかりやすい工夫がされています。また、「考えてみよう」という教材文を基に考え、議論し狙いに迫るための発問や、自分にプラスワンとしてその授業で学んだことを基に道徳的価値について前向きに考え、生かすための発問が設定されているのも工夫の一つだと思います。また、いじめ問題に関してですが、多面的・多角的に考察できるよう、これからの社会で子どもたちが遭遇するであろう社会的な問題についての提示がされていると思います。最後に日文は、別冊で道徳ノートというものが作成されており、学んだことの記録やふり返りができる工夫がなされていると思います。これまであった中心発問がなく、教師が考えた発問によってより狙いに迫る多様な道徳の授業が実践できると考えます。

小西教育長 質疑に入ります。質疑はございませんか。

小西委員 日文は確かにこの道徳ノートというのが、ある意味決定的な理由の一つかなと思いました。道徳ってそもそも何みたいなところから入ると思うのですが、それを教科書で学んで、こうやってふり返って、自ら文字に起こすというのはとても大事なことだなと思いますし、冊子に記録することができるというのは、教材としてはとても良い教材だなと思いました。

また、光村も良いなと思っていて、これは本当に個人的に見た感じが良いという、読みやすいというような印象だったのですが、そういった意見というの

は特になかったですか。

小田会長 光村がというのは特にはなかったです。

池田委員 私も日文を見ていたのですが、やはりこの道徳ノートというのは生徒にとってもとても大切ですし、それから指導者にとってもとても大切な部分かなというふうに思います。プリント等でも良いけど、ばらばらになってしまうということと、それから前にどうだったかというのがこの1冊になっていることによってふり返ることができるので、それがセットされているというのは、指導者にとってはすごく良いことかなと思います。それから少し個人的なところもあるのですが、いろいろな有名な人が取り上げてある中で、坂茂さんを取り上げてあり、下瀬美術館は坂さんが設計しているので、やはり大竹との関連がある部分の方があったので、子どもたちにも知ってもらうとても良い機会かなと思いました。

市川委員 道徳教材に入ると、やはり教材文を読んでいくというか、自分でずっと読んでいくわけですが、やはり随分といろいろと会社が工夫されているなと思いました。特に自分は東書の文章が読んでいて涙を誘うといえますか、自分の中で対話ができるのは東書だなと思いました。道徳については22の内容項目があるわけですが、それについて22のキーワードを具体的に示して、生徒に考えさせようとしているところは光村の部分であり、日文を見て、なるほどなと思ったのは、日文だけが道徳ノートが別冊で作られている、作成されている、今道徳というのは評価欄があるわけなのですが、指導者は評価をしていけないといけない、文章で評価をしていけないといけない、その手がかりになるのはこの道徳ノートになっているのかなと思いました。やはり実際に書き込ませる、じっくりと考えて、どうであったのかといって考えさせるという、いわゆる日文でいえば自分にプラスワンで、自分との関わりについて深めるための問いがあって、それを考えてみるという部分では、道徳ノートというのは随分と効果的な働きがあるのではないかなと思いました。

中田委員 私も日文が良いのではないかなと思いました。やはり道徳ノートは大きいなと思いました。自分で書いて、書き終わった後にふり返りをグラフのような形で見るができるというのは大きいのではないかなと思います。

小西教育長 それでは採択すべき発行者、そして理由について確認します。

道徳については、発行者は「日文」、理由としては「別冊の道徳ノートがあることが子どもたちに考えさせる手だてとしてはとても良いのではないか。」という意見が出ました。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 これで各種目の審議が全て終了をいたしました。

それでは、本件の採決をいたします。令和7年度大竹市使用中学校用教科用図書について、国語は「東書」、書写は「東書」、社会（地理的分野）は「東書」、社会（歴史的分野）「東書」、社会（公民的分野）「東書」、地図「帝国」、数学「学図」、理科「東書」、音楽の一般「教芸」、音楽器楽合奏「教芸」、美術「光村」、保健体育「学研」、技術家庭（技術分野）「開隆堂」、技術家庭（家庭分野）「東書」、英語「東書」、道徳「日文」を採択することとするに異議はありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって、本件は採択はされました。

説明員として御出席をいただきました、小田大介選定委員長、大変お疲れ様

でした。ありがとうございました。

議案第 15 号 令和 7 年度大竹市使用特別支援学級用教科用図書の採択について

小西教育長 日程第 3「議案第 15 号 令和 7 年度大竹市使用特別支援学級用教科用図書の採択について」を議題といたします。事務局から説明を求めます。

事務局 特別支援学級で使用する教科用図書のうち、学校教育法附則第 9 条の規定により、図書の選定について、当該児童生徒の教育課程において、検定教科書を使用することが適当でない場合は、文部科学省著作教科書や一般図書といった、他に適切な教科用図書を使用することができるとされています。この 9 条図書について、各学校では、学校長を中心に教頭、特別支援学級の担任、特別支援教育コーディネーターによる選定会議を設置し、児童生徒の実態に合わせた適切な教科書の選定を個別に行いました。各学校が選定した教科書を使用するためには、使用する前年度の 8 月 31 日までに教育委員会において採択することとされているため、各校から教育委員会へ提出された選定教科書の報告に基づき、「令和 7 年度使用特別支援学級用教科用図書」の一覧を作成し、議案として提出いたしましたので、ご審議をお願いいたします。

小西教育長 これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

小城委員 この教科書は小学校・中学校でそれぞれの科目が列記されていますが、これは小学校のそのクラスで使うという訳ではなくて、小学校のそのクラスのその子に対してという教科書という解釈で良いですか。

事務局 はい、一人ひとり教科書で違ったものを使っておりますので、具体的に学年等を挙げておりませんが、一人ずつという、たまに同じ教科書を他の子が使うことはありますが、お一人に合った、それぞれに合った教科書を選んでおります。

小城委員 例えばですけれども、中学校の理科で、発行者名、「新日本」、図書名、「でんじろう先生のおもしろ科学実験室 3 工作実験」とありますけれども、3 というのがいきなり来ていますけど、1 とか 2 というのも活用していて、それが良いから 3 を選んでいるのか、子どもの成長に合わせて、今は 3 が良いなというふうになったのか、先生からそういった意見とか、この選択理由とかというのはでていますか。

事務局 今までに 1 とか 2 を使ったというのではなくて、いきなり 3 というのが出てきて、選定理由は横にありますように、先生がこういった選定理由をつけて、教育委員会に上げてきております。

小城委員 先生はその生徒に対して、この教科書が適しているという判断の基というのは、それぞれ全てにおいて大前提ということですね。ありがとうございます。

小西教育長 子どもの実態に即して、学校現場で教職員が個別にその辺りで何がベストかという教科書選定をするようにしています。

小城委員 1 人に対して、科目 1 冊なのですか。それとも、この子にはもうちょっとこの教科書も与えたいとなったときは、2 冊とか 3 冊とかとなることはあるのですか。

事務局 配付できる教科書の数というのが決まっております。1 教科当たり 1 冊となっております。

池田委員　今回は全然星本が全く入っていないのですが、それは良いのですが、前にもお願いをしたように、どこかで例えば、いわゆる1冊しかないような市販で売られている本はなかなか難しいと思うのですが、星本であったり、ゆっくり学ぶ子のための算数であったり、そういうものを1度見てみるような機会がこの教育委員会の中でもあると良いというふうに思います。

小西教育長　その辺りについて、意見として伺っておきます。

これをもって質疑を終結します。本件を採決します。本件は原案のとおり可決することに異議はありませんか。

委員一同　異議なし。

小西教育長　異議なしと認めます。よって本件は採決されました。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了とします。なお本日の会議の議事録を作成するに当たり、各議題の審議内容について、字句、数字その他の整理を要するものについては、その整理を会議の議長に委任されたいと思います。異議はありませんか。

委員一同　異議なし。

小西教育長　異議なしと認めます。よって字句、数字、その他の整理は、議長である教育長で行います。

これにて、令和6年第8回教育委員会会議を閉会いたします。

【閉会時刻　16時50分】

.....